

世界の新井が監修!!

NEW
ITEM
CHECK

スバル車専用サスキット

HKS MAX IV GT Spssc-A



Option

2015
November

11

OPTION 2015年11月号(毎月26日発売)9月26日発売
第35巻第11号 通巻466号 1981年8月3日 第3種郵便物認可
<http://www.jdm-option.com/>

0-100km/h加速、コーナリングフォース etc

DATAで速さを解析する!!

ストリートチューンド フルテスト



サウンド&性能で選ぶ 鉄壁のマフラーCHECK!!

読者マシンのパワーチェック!!
新SSR情報局「交通取り締まりミニバンに注意!!」
峠でバトル!! 走り屋マンガ“RPM”



風洞実験で検証する!!
機能エアロのトレンドと解析

激化するサーキットバトルの為に
研ぎ澄まされた走りのフォルム



PHOTO: Hirotaka MINAI / Nobutoshi Kaneko
問 YFC ☎03-3431-9981 <http://www.yokohamawheel.jp>
取材協力: オリジナルランデュース 岡山県倉敷市三田118-1
☎086-464-0606 <http://www.runduce.com>

THE
NEWEST
WHEEL



YOKOHAMA WHEEL

ADVAN RACING GT -PREMIUM VERSION-

高機動型専用モデル。

コハモイルのラインアップの中でも、走りのパフォーマンスに拘るブランドがアドバンレーシング。そのフラッグシップとなるモデルが「アドバンレーシングGT」である。そのシンプルで力強いデザインは発売以来、数多くのチューニングカーファンを虜にしていた。

この5本スポークは、先行して発売されたアドバンレーシングTCⅢを基軸としてデザインされたもの。TCⅢは18インチ専用としてSタイヤとビッグキャリパーの装着を想定し、サーキットにおける性能を追求したハードモデルだ。このコンセプトを引き継ぎ、ヘビー級でかつ超パワーを有するR35 GT-Rのサーキットアタッカーに向けて、20インチから金型鍛造製法で企画された超硬派なスポーツホイールがアドバンレーシングGTだ。



1.18インチのプレミアムバージョンでは、C-1からC-5まで5タイプのスポークコンセプトが選択できる。なお、ランデュースのBGは前後に9.5J×18+40のC-4をセットしている。2.GTのオリジナルバージョンではステッカー仕様となるスポークロゴだが、プレミアムバージョンではマシンニング加工による彫り込みで表現。その立体的な演出とプレミアムバージョン専用カラーが相まって、装着マシンをプレミアムチューンドへと昇華する。3.4.ヘビー級マシンへの装着を前提に設計されたアドバンレーシングGTだけに、強度と剛性は徹底的に鍛えられているが、もちろん軽量設計にも抜かりはない。さらに、ピドシート部にはタイヤの空転を抑制するローレット加工が施され、ハイチューンドのスペックを余すところなく発揮させる。

鍛造ならではの強度と剛性の高さに加え、ハイチューンドへの装着を前提とした設計も武器となる。そのコンセプト形状は、ブレーキシステムを強化したビッグキャリパー装着車両とのマッチングを図るためのデザイン。しかも、それはR35とアフターマーケットにおける大容量ブレーキシステムのマッチングまでも計算した上で生み出されたフォルムでもあるのだ。

もちろん、このスポークコンセプトはウィングアル上の大きな魅力でもあり、迫力あるセッティングに対応。マシンがスポークがセンターに向かってラウンドしていく姿には、簡潔の美が感じられる。徹底的に無駄を削ぎ落として追求したデザインと、戦闘力を高めるための設計を融合合わせて描き出された、5本スポークの極みと言える。



リアルレーシングを連想させる チタニウムブルーの煌めき



Size List

SIZE	PCD	HOLE	IN SET	RIM	PRICE	
					RGP	TBP
18x8.0J	114.3	5	45	C1	¥75,000	¥75,000
18x8.5J	114.3	5	45	C1	¥76,500	¥76,500
			38	C2		
			31			
18x9.0J	114.3	5	45	C2	¥78,000	¥78,000
			25			
18x9.5J	114.3	5	45	C3	¥79,500	¥79,500
			29	C4		
			45	C3		
			40	C4		
18x10.0J	114.3	5	40	C3	¥81,000	¥81,000
			35	C4		
18x10.5J	114.3	5	22	C5	¥82,500	¥82,500
			15			
18x11.0J	114.3	5	30	C5	¥84,000	¥84,000

※カラー RGP=レーシングゴールドメタリック+マシニングロゴ
TBP=レーシングチタニウムブルー+マシニングロゴ

SIZE	PCD	HOLE	IN SET	RIM	PRICE		
					GBP	RGP	TBP
19x8.5J	114.3	5	38	S			¥87,000
	100		42	S			
19x9.0J	114.3	5	35	S			¥89,000
			25	M			
19x9.5J	114.3	5	50				¥91,000
			30	M			
			45				
19x10.0J	114.3	5	35	M			¥93,000
19x10.5J	114.3	5	25	E			¥95,000
20x9.0J	114.3	5	38	S	¥99,000		
			28	M	¥101,000		¥101,000
20x9.5J	114.3	5	28	M	¥101,000		¥101,000
20x10.0J	114.3	5	35	S	¥103,000	¥103,000	¥103,000
20x10.5J	114.3	5	24	E	¥105,000	¥105,000	¥105,000
20x11.0J	114.3	5	39				¥107,000
			15	E	¥107,000	¥107,000	
			5				
20x12.0J	114.3	5	20	E	¥113,000	¥113,000	¥113,000

※カラー GBP=レーシンググロスブラック+マシニングロゴ
RGP=レーシングゴールドメタリック+マシニングロゴ
TBP=レーシングチタニウムブルー+マシニングロゴ
※RIM S=スタンダード・ディープ M=ミディアム・ディープ E=エクストラ・ディープ



プレミアムバージョンに 待望の18インチが追加設定

R 35GT R専用として企画されたアドバンレーシングGTは、その後18インチにまでサイズラインアップを拡大。その人気はサーキット派だけに収まらず、ストリート派にも波及していく。そして、その支持に応えるように、オリジナルバージョンに加えて追加設定されたモデルが「プレミアムバージョン」だ。

プレミアムバージョンとは、スポークロゴをマシンテグ加工によって彫り込むことで、本来のレーシーな持ち味に文字通り高級感を融合させたモデル。これまでは20インチと19インチにのみ設定されていたプレミアムバージョンだが、待望の18インチが追加。そして、プレミアムバージョン専用カラーとして「レーシングチタニウムブルー」が新設定されたのである。

その色合いは華やかなブルーではなく、黒く奥深いディーブルー。チタニウムブルーをイメージしてほしい。鮮やかな青に焼けたテールにはファッショナブルな印象を持つのに対し、黒く深い青に焼けたテールには、リアルな走りを連想するのでないだろうか。そんな洗練された青の上には艶のあるクロスカリアを重ねることで、走りのマインドを刺激する独特な高級感を醸せるブルーを調色。アドバンレーシングGTの超硬派なスペックに相応しいカラーが与えられたというわけだ。

走りの刺激を求めてチューニングを施している走り屋なら、アドバンレーシングGTのコンセプトは直撃のはず。さらにレーシングチタニウムブルーの煌めきは、走りのイメージをより高めへと導いてくれることだろう。純正の片持ちブレーキキャリアのまま装着することが憚られるような、マッチングにハードルさえ感じさせる孤高の存在。アドバンレーシングGTとは、まさにハイチューンドに向けたスポーツホイールなのである。



20インチではR35用ブレーキシステムとのマッチングを、純正のみならず社外品までも考慮してデザインされたが、同様に18インチにおいても、BG&BRZ用サイズを例に挙げると、STIプレレンボキャリアの後付を考慮したキャリアパークリアランスが確保されている。もちろん、社外のビッグキャリアに対する適応度は抜群だ。過熱するBG&BRZでのサーキットアタックで高い装着率を誇る理由がここにある。



スポークコンケイブの深い落ち込みに加え、リムの深さもアドバンレーシングGTのウィジュアル上における魅力となる。そして、艶やかなクリアの下で見せる深みのあるブルーは、ハイチューンドにこそ相応しい高級感を与えてくれる。

YOKOHAMA WHEEL
ADVAN RACING GT
-PREMIUM VERSION-